

神戸市長

久元 喜造 様

「自民党神戸」市会議員団の政務活動費不正受給問題についての申し入れ

2015年8月12日

日本共産党神戸市会議員団

団長 松本 のり子

神戸市議会の「自民党神戸」市会議員団による政務活動費不正受給問題は、調査委託名目で支出した約1120万円を、この春に行われた市議会議員選挙で「陣中見舞い」として現職議員ら16人に渡されていたことがあきらかになりました。

「自民党神戸」市会議員団が、カンステインターナショナルに調査委託名目で支出した約1120万円を、3月末に現職議員12人に1020万円、新人候補5人に100万円渡したとしています。当時の会派代表の浜崎為司議員もこのことを認め、代表者会議では「議員団総会で封筒に入れて渡した」と発言しています。渡された現職議員のうち一人は翌日に返金、新人の内一人には渡されていません。不透明支出が問題になってから、受け取った議員らが返金、代表者会議までに10人から返金されたとしています。未返還分も含め、大野議員が全額、神戸市に返還しています。

浜崎議員は「原資については、大野議員がつくってくれたものと思っていた。政務活動費とは知らなかった」などとしています。しかし、故・大野議員の代理人の阪本弁護士は「誰に配るか、それぞれにいくら渡すか、大野議員は関与していない」とされています。現在明らかになっている事実からもなど、市長が昨日の記者会見で「元議員個人の行為ではなく複数議員に関わることだ」表明されたように、疑惑は一層深まり、議会への信頼を著しく傷つけています。

クレバースリーに関する不正受給問題も含めて、「自民党神戸」市会議員団が、実際に支出していない費用を支出したように装い、内容虚偽の政務調査費及び政務活動費にかかる収支報告書を提出し、財産上不法の利益を得て、その一部が選挙活動につかわれたことが明らかになりました。

神戸市として「会派による真相究明」の結果を待つまでもなく、虚偽有印公文書作成・同行使、詐欺などによって被害をこうむった告訴権者として、直ちに刑事告訴することを求めます。

記

神戸市として「自民党神戸」市会議員団関係者をはじめ、不正受給に関与・関係した人々を刑事告訴すること。

以上